

代表者メールアドレス：[kyoapl@yahoo.co.jp](mailto:kyoapl@yahoo.co.jp)

オーガナイザー氏名：岡 久美子

ファシリテーター氏名：大城 京子、西川 満則

開催年月日：2020年4月14日（火）

開催時間：18時00分～20時00分

開催地：快護相談所和び咲びから、ZOOM開催（愛知県大府市・知多市）に変更

対象者：対人援助職として、コミュニケーションスキルや関わる知識を学習したい人

参加者：7人

概要：①苦しむ人への援助と5つの課題 ②反復と沈黙 ③1対1の対応（マイクロ）

#### 参加者からのコメント

- ・日ごろの関わりに活かせると思う
- ・反復が思った以上に難しかった。
- ・感情を先読みしないことが勉強になった。ケアでありがちなので、気を付けようと思う。
- ・ケアマネとして、プライドを持って明日から実践しようと思う。
- ・チームメイトの苦しみをキャッチして、共有し、支えていきたいと思う。
- ・反復と沈黙のコミュニケーションを、人生の最終段階のどのステージにいる方に使えばいいのかわからない。
- ・とても刺激になった。とても奥が深いと思った。
- ・反復が、よそよそしく感じた。繰り返されると、あまりいい気持ちはしなかった。
- ・内容が濃く、もっと時間をかけて学びたいと思った。
- ・小澤先生の養成基礎講座を受講したいと思った。

#### オーガナイザーコメント

- ・スライドの出し方（ノート）などは、プリントするなどして、準備をしっかりとしておく
- ・時間の配分も、事前に確認し、多めに確保して置くことが大切
- ・反復と沈黙では、ロールプレイこそ丁寧に行う。まず、基礎を行い、フィードバックをしてから応用に移ると、理解が深まる。
- ・3つの支えの部分では、事例が“役割”としての支えであったので、選べる自由【療心尊…】を入れるとより伝えやすいと思う。
- ・スピリチュアルペインは、精神的な痛みではなく魂の痛みなので、身体的・経済的・精神的・スピリチュアルな痛みの4つの痛みのスライドを提示してもよかったと思う。
- ・キースライドについては、A4サイズでプリントする。

課題：新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンラインでの開催が当面は望ましい。ELCのコンテンツをしっかりと理解し、オリジナル感も出しながら、学習会を開催する。

時間配分の余裕を持って構成する。